

今日から気持ちも新たに！ ～ 2学期始業式 校長式辞 ～

夏休みもおわり、今日から2学期がスタートしました。さあ、気持ちも新たに、1日1日を大切に、充実した日々を送りましょう。

< 2学期始業式 校長式辞 > ※ 抜粋

さて、2学期は様々な行事が目白押しであり、ややもすると、行事をこなすことに一生懸命になりすぎて「何のためにこのことをやっているのか」ということがおろそかになってしまいます。つまり「何のため」という目的を見失うということです。目的をしっかり持つことの大切さについて、1つのお話を紹介します。

ある鉄道会社の社長が、線路の修理現場を視察に行きました。すると、一人の作業員が親しげに声をかけてきました。「久しぶり！ 君もずいぶん出世したもんだね。君が社長になったと聞いたときは、本当に驚いたよ。」 見ると、その作業員は、10年前に社長と一緒に作業員として働いていた友人でした。そして、その友人は言いました。「10年前は一緒に、1日50ドルの給料をもらうために働いていたのに。君も変わったね。」 社長は少し残念そうな顔をしながらこう言いました。「…そうだったのか。君は50ドルもらうために働いていたのか。」 そして、一言一言かみしめるようにその作業員に向かって話しました。「私は、作業員だった10年前も、社長になった今も、この鉄道会社のために、そして、世の中の人たちに快適な旅をしてもらうために働いているんだよ。」

「何のためにはたらくか・・・」 同じ仕事をしていても、どんな目的で取り組んできたのかで、10年たったならこれだけの差が開くのです。学校で行うすべてのことには、必ず目的があります。「何のために」という目的を明確にし、自身に常に問いかけながら、充実した生活を送っていきましょう。

心に響く発表でした！ ～少年の主張大会～

18日（土）、村文化センターにて第25回西郷村少年の主張大会が行われ、本校からは3年生の吉田遥人さんと伊藤葉奈さんの2名が出場しました。吉田さんは自分の募金活動の体験を通して、誰かの役に立つ生き方をすることの大切さを学んだこと、伊藤さんは亡くなられた曾祖父との交流を通して家族の大切さをあらためて感じたことを心を込めて訴えました。

結果は、吉田さんが優秀賞を、伊藤さんが優良賞をいただくことができました。おめでとうございました。



見事な演奏でした！ ～TBC子ども音楽コンクール～

19日（日）、福島市にあるとうほう・みんなの文化センター（県文化センター）にて、TBC子ども音楽コンクール福島大会が行われ、本校吹奏楽部の皆さんが出場しました。7月に出場した吹奏楽コンクールの時よりもさらに磨きのかかった演奏をすることができ、優秀賞に輝きました。惜しくも東北大会出場は果たせませんが、息の合った素晴らしい演奏に、会場から大きな拍手が贈られました。



ボランティアの方々に感謝です。

8月7日（火）、古くなった生徒用の机と椅子の廃棄作業が行われました。その作業を行ってくださったのが、日頃から本校の様々な活動を支えてくださるボランティアの方々です。当日は、長谷部建設の長谷部修一さんと従業員の方、学校活動支援事業コーディネーターの菅野一さん、本校元PTA会長の皆川誠さん達が、お仕事の合間を縫って駆けつけてくださいました。お陰さまで、作業もはかどり、無事廃棄作業を終えることができました。ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

